

日本 LCA 学会講演会

「脱炭素社会へのトランジションにおける削減貢献量評価の実践と役割」

- ◆日 時 : 2025 年 3 月 27 日 (木) 13:30~17:10
- ◆会 場 : 連合会館 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
<http://rengokaikan.jp/>
- ◆主 催 : 日本 LCA 学会
- ◆共 催 : LCA 日本フォーラム
- ◆企 画 : 日本 LCA 学会企画委員会
- ◆参加費 : 日本 LCA 学会員 : 5,000 円
LCA 日本フォーラム会員 : 5,000 円
一般 (上記以外) : 10,000 円
- ◆申込先 : <https://lcasakugen2025.peatix.com>
※Peatix にご登録いただく必要がございます
※原則、クレジットカードでの支払いをお願いしております
- ◆申込締切 : 2025 年 3 月 25 日 (金)

【開催趣旨】

脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出削減のための様々な取り組みがなされています。温室効果ガスのネットゼロ排出の実現に向けて社会が移行していく（トランジション）中で、様々な主体が連携して製品、サービス、組織としてのバリューチェーンを通じた温室効果ガス排出削減を実現することは大きな役割を果たすものと期待されています。

日本 LCA 学会では、製品・サービスを対象とした「温室効果ガス排出削減貢献量算定ガイドライン」第二版を 2022 年 3 月に発行し、現在「組織の温室効果ガス排出削減貢献量の算定と開示に関するガイドライン」第一版の発行準備を進めています。温室効果ガス排出量のバリューチェーンを通じた削減貢献を一定の原則のもとで透明性をもって評価することができる方法論の確立を進めてきました。

本講演会では、新たに発行予定の組織の評価のためのガイドラインについての解説を行うとともに、関連するガイドラインの紹介や、製品・組織の温室効果ガス排出削減貢献量評価の事例の紹介を行います。また、削減貢献量評価への期待やその活用について金融セクターの視点からの意見を頂き、脱炭素社会へのトランジションの中での削減貢献量評価の役割とその可能性について議論致します。

◆プログラム案（暫定）：

- 13:30-13:35 開会挨拶 日本 LCA 学会 会長 松野泰也
- 13:35-14:05 (仮) 「組織の温室効果ガス排出削減貢献量の算定と開示に関する
ガイドライン」の紹介
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 内田 裕之 氏
- 14:05-15:05 実践事例紹介
実践事例 1 株式会社デンソー 棚橋 昭 氏
実践事例 2 Azbil 株式会社 藤田 真吾 氏
実践事例 3 パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社
佐々木 秀樹 氏
- 15:05-15:20 休憩
- 15:20-15:50 (仮) 金融セクターから見た削減貢献量評価の役割と期待
株式会社みずほフィナンシャルグループ 山我 哲平 氏
- 15:50-15:55 休憩
- 15:55-17:25 総合討論
- 17:25-17:30 閉会挨拶 日本 LCA 学会企画委員会 委員長 正嶋宏一

※以下の QR コードからもお申込みいただけます

